

【PPP/PFI推進首長会議】

官民連携事業への取組みと課題

講演資料



AREANE

エリアワン株式会社

代表取締役社長 杉浦 祐介

企業理念

create the **AREA as ONE**

あなたと一緒に地域を創っていききたい

社名	エリアワン株式会社
所在地	愛知県刈谷市大手町5丁目1番地
設立	2005年11月15日
資本金	1,000万円
従業員数	242人（2022年4月時点）
売上	約1,300百万円（2022年度見込）



6社の専門ノウハウを結集した 官民協働事業の専門企業

- 1 平野造園(株)（造園業）
- 2 (株)スポーツマネジメント（イベント業）
- 3 城東電機(株)（電気工事業）
- 4 (株)アシタ（清掃業）
- 5 (株)アイ・エム（金物工事業）
- 6 (株)AMネクスト（コンサルティング業）



主な事業内容

愛知県内に根差す
官民協働事業専門企業として

- 1 PPP事業
(指定管理者・PFI事業・官民協働事業)
- 2 プロモーション戦略事業
- 3 イベント事業
- 4 次世代育成事業
- 5 飲食物販事業

■ グラフィック・WEB・動画・コラボメニュー



主な管理施設

指定管理事業を中心に
愛知県内18施設の管理に従事

スポーツ施設

芸術文化施設

博物館

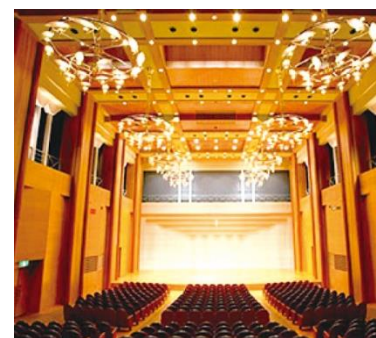
観光施設



刈谷市総合運動公園



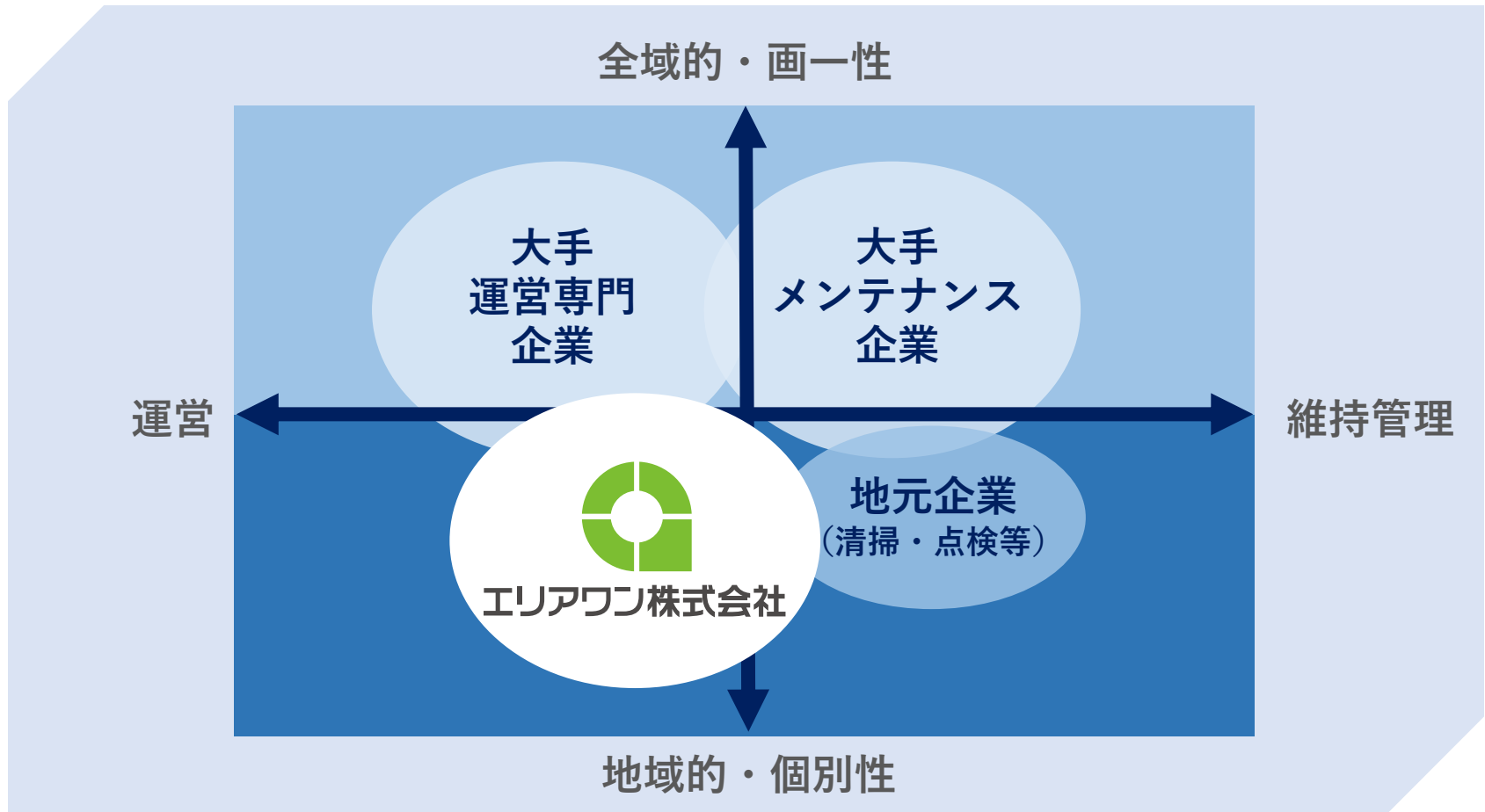
安城市歴史博物館他



碧南市芸術文化ホール



刈谷ハイウェイオアシス



「運営型地域密着企業」を立ち位置とすることで差別化
大手企業との協業も図りながら地域性を踏まえた運営を目指す

5.地域連携活動の主な取組事例

1 市民・地域団体の活動機会の創出



市民・団体発表ステージ
(刈谷ハイウェイオアシス等)



地域店舗による定期マルシェ
(安城市歴史博物館・口論義運動公園等)



自主企画展覧会
(安城市民ギャラリー・豊橋市こども未来館等)

2 市民ボランティア組織の創設・育成支援



ムラづくりプロジェクト
(あいち朝日遺跡ミュージアム)



歴博ガイドボランティア
(安城市歴史博物館)



アスリートバンク
(豊橋市総合運動場)

5.地域連携活動の主な取組事例

3 市民同士の交流機会の創出



エリアワンカップ
(碧海5市のキッズサッカー大会)



音楽コンクール
(市民で作る音楽のリレーコンサート)



刈谷グルメNO.1決定戦
(市内飲食店によるグルメイベント)

4 地域普及活動（アウトリーチ活動）



スポーツ出張指導
(刈谷市内全幼稚園・保育園)



ダンスアウトリーチ
(市内小学校への出張授業)



古代体験会
(県内各所へ出張イベント)

Mission

- ① 地域への想いを込めた運営をすること
- ② 市民・地域の方々の活動のステージを創出すること
- ③ 地域の人材を活かすこと
- ④ 魅力を発信し、新たな価値を生み出すこと
- ⑤ 地域経済を循環させること

課題① 地域企業のPPP事業に対する理解が乏しい

POINT

- 地域企業への丁寧な事前レクチャー(共通言語化)を実施
(地域主導型の事業構築も視野に)
- 事業の小規模化を検討

課題② 地域企業が活躍するステージが不明瞭である

POINT

- 施設や地域の特性に合わせた具体的なビジョンや計画を
- 地域企業の活躍が必須となる業務を明文化(地域連携・災害時対応等)
- 審査評価制度の見直し(地域企業・団体の主体的な参画を促す)

課題③ 仕様発注・コスト優先(管理重視)の傾向が強い

POINT

- 管理面の性能発注のみならず、事業創造に対する価値を重視
(地域の優秀な人材を確保・低コスト人材からの脱却)
- 官民で共創する仕組みづくり(官民連携基金の創設等)

課題④ 官民のリスク分担が曖昧

POINT

- 賃金や物価変動に対するスライド条項を適用
(短中期事業においても定期改定の仕組みを導入)
- 不可抗力リスク、修繕リスク等の明確化

最後に

地域企業の更なる活躍に向けて



create the AREA as ONE

エリアワン株式会社

代表取締役社長 杉浦 祐介